

## FusionPlace 処理性能計測結果

2012/06/05

FusionPlace は手頃なハードウェア上で非常に高速に動作します。以下は、FusionPlace 1.6 を用いて弊社で行った簡単な処理性能計測の一例です。

### 1. テストサーバ機仕様

エントリーレベルのノート PC にメモリを追加してサーバ機としています。

CPU : Intel Core i5 2467M 1.60 GHz  
メモリ : 4GB  
OS: Windows 7 x64 エディション  
Java : JDK-6u23 Windows 64bit 版  
Java の最大メモリ割り当て量 : 1,5GB

### 2. 処理性能計測結果

#### (ア) インポート処理時間

空のアプリケーションに、リクエストを用いて同一シナリオ・年度・月の元帳データ 200 万件をインポート（ひとつのリクエストで全件インポート・ログ出力なし）。

処理時間 : 8 8 秒

#### (イ) 初回検索処理時間

上記インポート処理直後の元帳に対して、Excel シートから、単一セルの検索を実行。当該セル値は上記データの半数(100 万件)を集約したものとなる。

処理時間 : 2 6 秒

#### (ウ) 二回目検索時間

初回と同じ内容の検索処理を再実行（初回でデータロード済みのため、高速となる）。

処理時間 : 0. 3 3 8 秒

以降、検索キーを変更して同様の処理を繰り返しても、(100 万件の処理ならば)上記とほぼ同じく 0.3 秒から 0.4 秒の処理時間となる。

#### (エ) 一連の処理完了時のサーバプログラム消費メモリ量

割当て済メモリ量 : 1,518MB

内、空きメモリ量 : 268MB（不要メモリ解放後は、1,138）

【留意事項】 FusionPlace はメモリ内で、1 年分（この例では 12 ヶ月分）のデータを横持ち（配列保持）します。従いまして上記の「検索時間」（イ・ウ）および「消費メモリ量」（エ）は、年間ベースでは 2400 万件相当の値です。